



Day & Night スピードドームカメラ

MSD-7625DHNF

MSD-7635DHNF

取扱説明書



目次

1. 正しくお使いいただくために	P-2
2. 特長	P-3
3. 各部の名称	P-4
3-1. ドーム本体	P-4
3-2. RS-485 コネクタ部	P-4
3-3. アラーム端子	P-4
4. カメラ本体の設定方法	P-5
4-1. カメラアドレスの設定	P-5
4-2. RS-485 プロトコルの設定	P-5
4-3. アラーム出力モードの設定	P-6
5. カメラアドレスの設定チャート	P-7
6. 取付分解図	P-11
7. 設置方法	P-12
7-1. 天井埋込の時	P-12
7-2. 天井直付の時	P-14
7-3. 壁付の時	P-16
8. 接続例	P-17
8-1. スピードドームとキーボード各1台の接続	P-18
8-2. スピードドーム/DVR/キーボードの接続	P-18
8-3. スター結線	P-19
8-4. スピードドーム/マトリックススイッチャ/キーボードの時	P-19
8-5. スピードドームと PC の接続	P-20
9. 操作	P-20
9-1. マニュアル操作	P-20
9-2. プリセット	P-22
9-3. アラーム	P-23
10. 設定メニュー画面一覧	P-24
11. スピードドームの設定	P-26
11-1. 言語設定	P-26
11-2. 文字表示設定	P-26
11-3. スピードドーム機能設定	P-28
11-4. スケジュール設定	P-39
11-5. システム情報の表示	P-40
11-6. カメラのリセット	P-41
11-7. システムの再起動	P-41
12. 機器仕様	P-42

1. 正しくお使いいただくために

以下の警告・注意事項をお読みになり、安全にご使用ください

 **警告** 人が死亡、または重症を負う恐れがある内容です。

- 電源は正しく使用する

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 湿気の多い場所では使用しない。

風呂場・炊事場など、湿気の多いところ、湯気、油煙、ほこりがあたるような場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 雷が鳴りはじめたときの対処

雷が鳴りはじめたら、すみやかに電源ケーブルをカメラ本体から抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- キャビネット外は絶対にはずさないでください。

火災・感電の原因となります。内部点検、調整、修理は販売店にご依頼ください

- 機器に異常が生じたときの対処

万一煙がでている、変なおいや音がする、本体を触ることができないほど発熱している場合などの異常状態になったときは、すみやかに電源ケーブルをカメラ本体から抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

- 改造は絶対にしないでください。

このカメラを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

- 機器に水が入る可能性のある環境では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。降雨

中、海岸、川岸水辺での使用は危険ですのでおやめください。

 **人**が障害を負ったり、財産が損害を受ける恐れのある内容です。

- 直射日光や熱器具の近くは避けてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くには置かないでください。内部温度が上昇して故障の原因となります。

- お手入れのとき

お手入れのときは、安全のため、作業の前に必ず電源ケーブルを本体から抜いてください。

- 磁気を発生させる機器の近くには置かない。

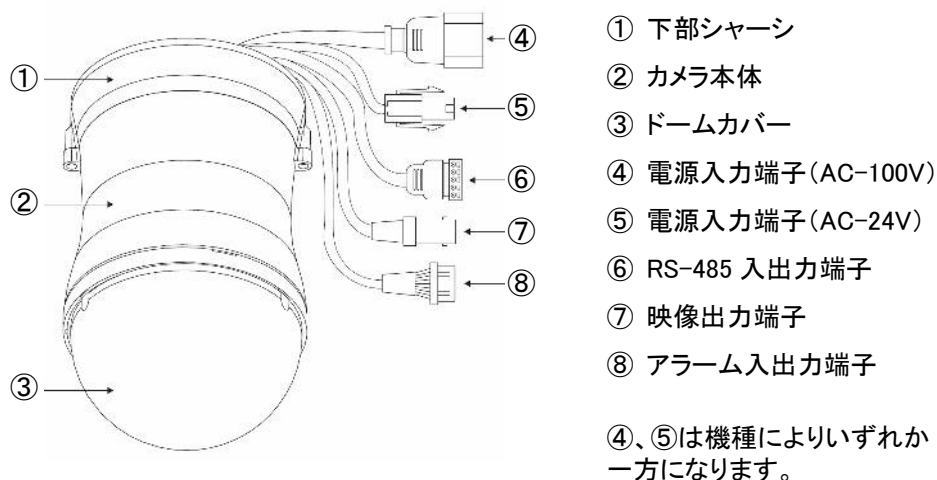
磁気を発生させる機器の近くには置かないでください。磁気の影響を受けて、正しく動作しないことがあります。

2. 特長

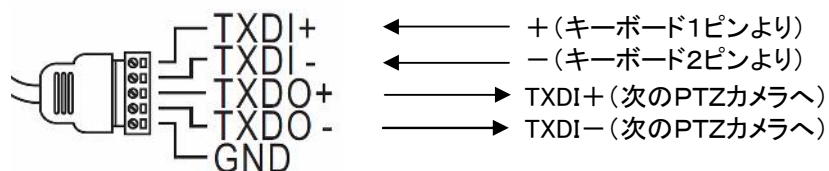
- 35 倍光学ズームレンズ一体型 (MSD-7635DHNF) および 25X 光学ズームレンズ (MSD-7625DHNF) 一体型のスピードドームカメラです。
- プライバシーマスク装備、最大 8 箇所の設定が可能です。
- 水平方向 360° 連続回転ができます。
- プリセットポジションは最大 128 箇所設定可能、プリセットポジションのオートスキャンも可能です。
- アラームは 6 入力装備しています。
- 水平解像度 520TV 本 (カラー) / 580TV 本 (白黒) の高解像度です。
- 最低被写体照度は 0.1 ルクス (カラー) / 0.01 ルクス (白黒) を実現しています。
- フリッカレス機能を装備しています。
- RS-485 でコントロールができます。(最大延長距離約 1 km)
- 最大 256 台の PTZ カメラが接続できます。
- 天井埋込・天井直付に必要なアクセサリを標準で付属しています。
- 被写体の明るさに応じてカラー/白黒が自動的に切替わります。指定時間による切替も可能です。
- 逆光補正回路内蔵、逆光下でも鮮明な画像が得られます。
- カメラ設定はモニタ画面上で設定できます。
- ミラー反転機能を装備しています。

3. 各部の名称

3-1. ドーム本体



3-2. RS-485 コネクター部



■機器との接続距離は最大1kmです。

ケーブルは 0.75 以上のツイストペアケーブルを使用してください。

3-3. アラーム端子



アラーム出力 : NO/NC (灰)

COM (白)

GND (黒)

アラーム入力 : 入力6 (赤)

入力5 (緑)

入力4 (橙)

入力3 (青)

入力2 (黄)

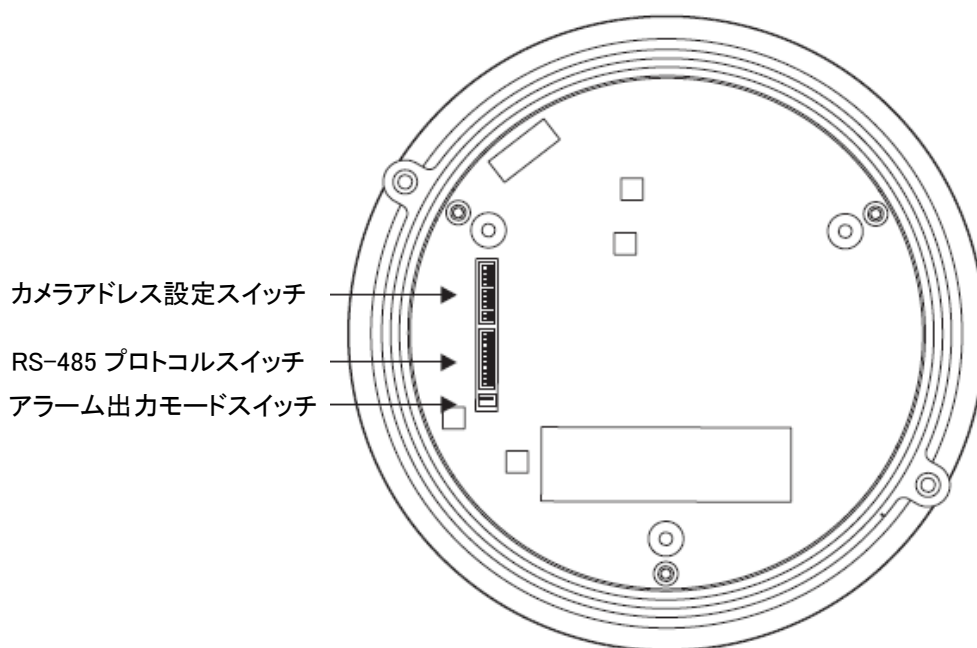
入力1 (紫)

・アラーム入力電圧は最大 5.6V です。

・アラーム出力の接点定格は最大 1A DC24V です。

・推奨ケーブル→ 80C 300V UL 26 AWG、80C 300V UL 24 AWG

4. カメラ本体の設定方法



4-1. カメラアドレスの設定

- ・ 次章「カメラアドレスの設定チャート」を参照して設定してください。

4-2. RS-485 プロトコルの設定

1. RS-485 入力 : 終端抵抗の ON/OFF
2. RS-485 出力 : 終端抵抗の ON/OFF
3. HALF/FULL : 2 線式(半二重)または 4 線式(全二重)の選択
4. BAUD SEL1 ボーレート設定 1
5. BAUD SEL2 ボーレート設定 2
6. プロトコル 1 プロトコル選択 1
7. プロトコル 2 プロトコル選択 2
8. プロトコル 3 プロトコル選択 3
9. プロトコル 4 プロトコル選択 4
10. — 未使用

4-2-1. RS-485 終端抵抗の設定

- ・ メリットプロトコル(MLP1、MLP2)を使用の場合はディップスイッチ 1、2 とも ON に設定してください。
(ディップスイッチ ON : 終端オープン、ディップスイッチ OFF : 終端 120 オーム)

4-2-2. RS-485 通信モードの選択

ディップスイッチ	3
2 線式 (半二重)	OFF
4 線式 (全二重)	ON

2 線式 (半二重) モード → 低コストで設定が簡単のためこのモードを使用します。

このモードではデータの送受信を同時に行なうことはできません。

4 線式 (全二重) モード → 同時にデータを送受信できます。

4-2-3. ボーレートの設定

ボーレートの設定		
ディップスイッチ	4	5
2400 bps	ON	ON
4800 bps	OFF	ON
9600 bps	ON	OFF
19200 bps	OFF	OFF

メルिटプロトコルは、ノンパリティ、データ長: 8 ビット、ストップビット: 1、ボーレート: 9600bps

4-2-4. プロトコルの設定

プロトコルの設定				
ディップスイッチ	6	7	8	9
MLP2 (メルिटプロトコル 2)	ON	ON	ON	ON
MLP1 (メルिटプロトコル 1)	OFF	ON	ON	ON

MLP1 (メルिटプロトコル 1): PTZ カメラ MSD-7000/7600/7625NF のプロトコルと同じです。

MLP2 (メルिटプロトコル 2): PTZ カメラを制御するための新しいプロトコルです。MLP2 はチェックサムやエキストラコードを含む 7Byte で構成されており、チャックサムはプロトコルに影響を及ぼす RS-485 の干渉を防ぎ、エキストラコードはホームポジションの設定を可能にします。

4-2-5. メリットプロトコル用ディップスイッチの設定

メルिटプロトコル・ディップスイッチ設定										
ディップスイッチ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
MLP2 (メルिटプロトコル 2)	ON	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF
MLP1 (メルिटプロトコル 1)	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON	ON	OFF

4-3. アラーム出力モードの設定

- ・アラーム出力モードスイッチによりアラーム出力の N.O. または N.C. を選択します。

5. カメラアドレスの設定チャート

5-1. メリットプロトコル1 (MLP1) (最大 64 台まで接続できます。)

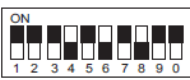
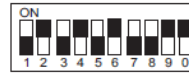
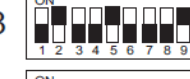
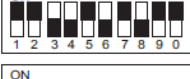
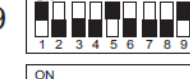
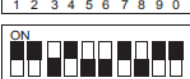
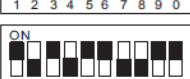
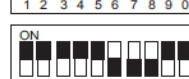
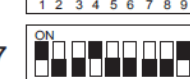
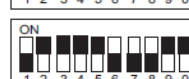
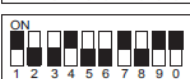
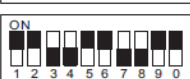
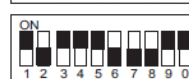
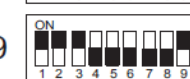
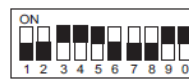
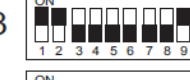
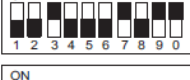
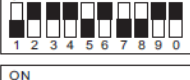
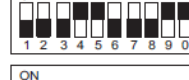
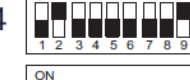
各々のスピードドームはベースにあるディップスイッチでアドレスを設定します。

1		17		33		49	
2		18		34		50	
3		19		35		51	
4		20		36		52	
5		21		37		53	
6		22		38		54	
7		23		39		55	
8		24		40		56	
9		25		41		57	
10		26		42		58	
11		27		43		59	
12		28		44		60	
13		29		45		61	
14		30		46		62	
15		31		47		63	
16		32		48		64	

5-2. メリットプロトコル 2 (MLP2) (最大 256 台まで接続できます。)

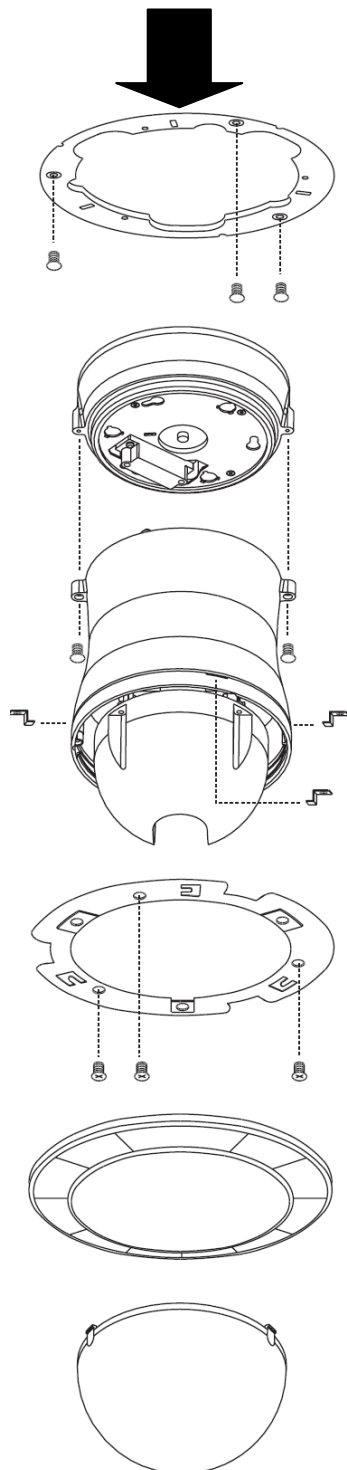
1		22		43		64	
2		23		44		65	
3		24		45		66	
4		25		46		67	
5		26		47		68	
6		27		48		69	
7		28		49		70	
8		29		50		71	
9		30		51		72	
10		31		52		73	
11		32		53		74	
12		33		54		75	
13		34		55		76	
14		35		56		77	
15		36		57		78	
16		37		58		79	
17		38		59		80	
18		39		60		81	
19		40		61		82	
20		41		62		83	
21		42		63		84	

85		106		127		148	
86		107		128		149	
87		108		129		150	
88		109		130		151	
89		110		131		152	
90		111		132		153	
91		112		133		154	
92		113		134		155	
93		114		135		156	
94		115		136		157	
95		116		137		158	
96		117		138		159	
97		118		139		160	
98		119		140		161	
99		120		141		162	
100		121		142		163	
101		122		143		164	
102		123		144		165	
103		124		145		166	
104		125		146		167	
105		126		147		168	

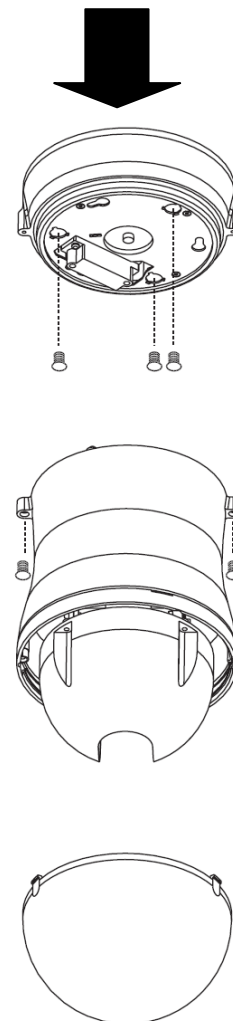
169		191		213		235	
170		192		214		236	
171		193		215		237	
172		194		216		238	
173		195		217		239	
174		196		218		240	
175		197		219		241	
176		198		220		242	
177		199		221		243	
178		200		222		244	
179		201		223		245	
180		202		224		246	
181		203		225		247	
182		204		226		248	
183		205		227		249	
184		206		228		250	
185		207		229		251	
186		208		230		252	
187		209		231		253	
188		210		232		254	
189		211		233		255	
190		212		234		256	

6. 取付分解図

天井埋込



天井直付

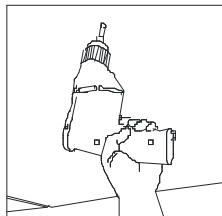


7. 設置方法

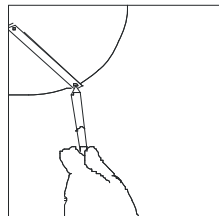
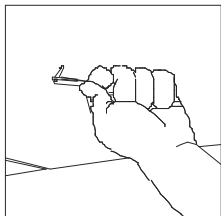
(注) 取り付け場所に十分な強度が無い時は必ず補強工事を行ってください。

7-1. 天井埋込の時

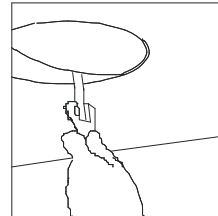
7-1-1. 天井の穴あけ



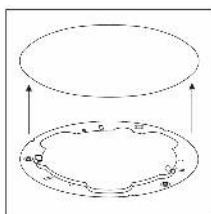
設置箇所の中心をドリルで 2～3 mm 程の穴をあけます。



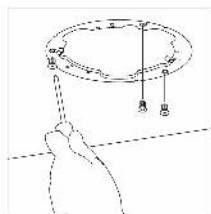
コンパスで直径 170 mm の円を描きカットします。



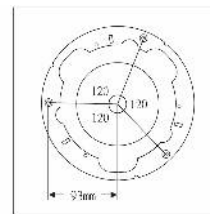
7-1-2. 台座取り付け



台座を天井に当てます。

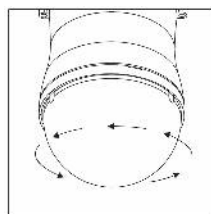


台座を取付ネジで固定します。

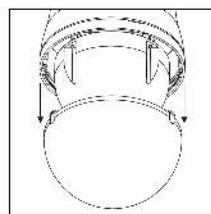


台座寸法及び取付ネジ位置

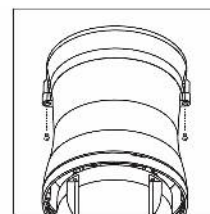
7-1-3. カメラの設定



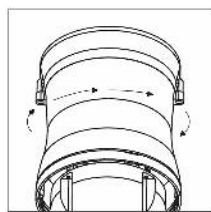
ドームカバーを反時計方向に回してはずします。



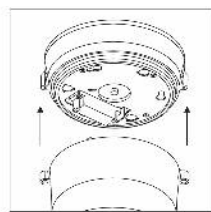
ドームカバーをカメラからはずします。



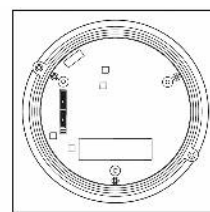
ベースから 2 つのネジを緩めます。



時計回りにカメラ本体を回します。

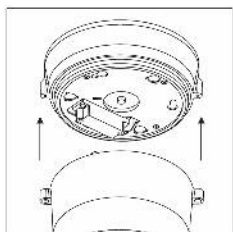


カメラ本体とベースを切り離します。

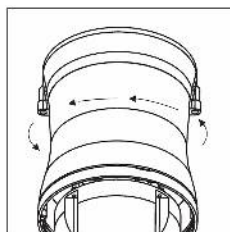


アドレス/アラーム出力/RS-485を設定します。(P5 参照)

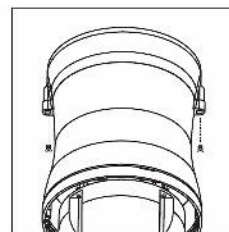
7-1-4. カメラベースへの再取付



カメラ本体をベースに装着

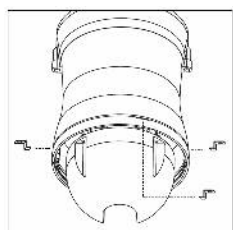


反時計方向に回して位置を確認

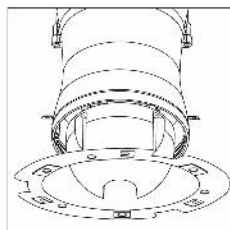


取り外したネジで固定します。

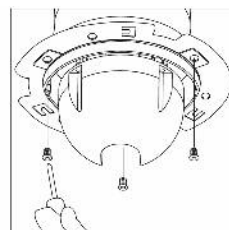
7-1-5. 固定リングの装着



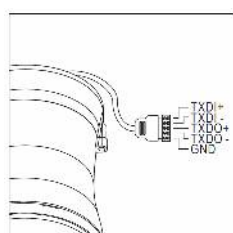
同梱のL型金具をカメラ本体の溝に差し込みます。



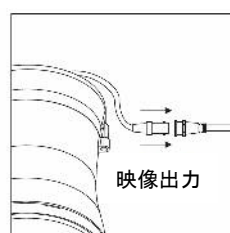
固定リングを装着して黒ネジで固定します。



7-1-6. ケーブルの接続



RS-485 ケーブル

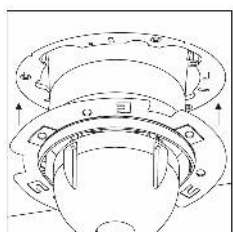


映像出力ケーブル
(各部の名称参照)

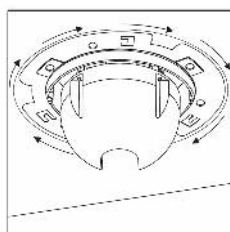


アラームケーブル

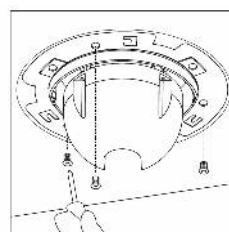
7-1-7. カメラ本体と化粧リングを設置



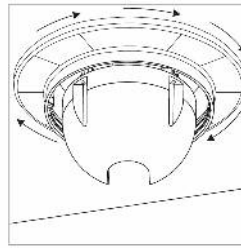
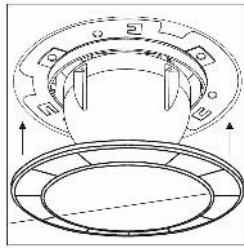
カメラ本体を天井内に埋め込みます。



時計方向に回して台座の金具に固定します。

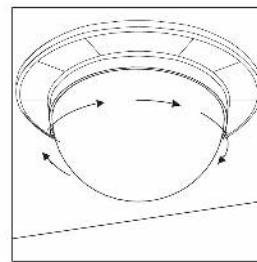
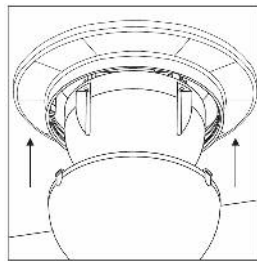


3箇所をネジで固定します。



化粧リングを取り付け時計方向に回して固定します。

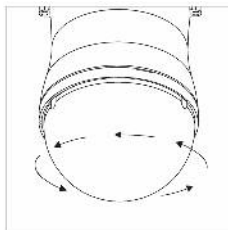
7-1-8. ドームカバー取り付け



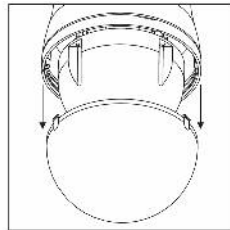
ドームカバーをカメラ本体に取り付け、時計方向に回してドームカバーを取り付けます。
ドームカバー装着後、カバーの汚れをふきとってください。

7-2. 天井直付の時

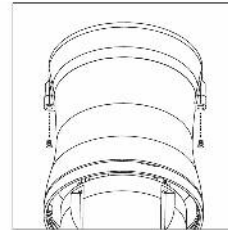
7-2-1. カメラベース天井取付



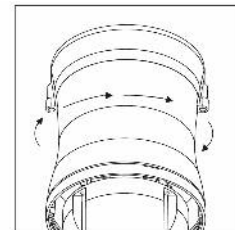
ドームカバーを反時計方向に回してはずします。



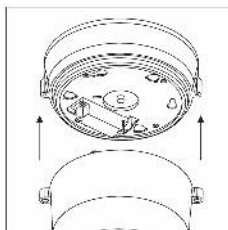
ドームカバーをカメラからはずします。



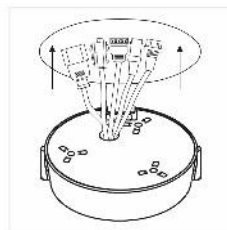
ベースから2つのネジを緩めます。



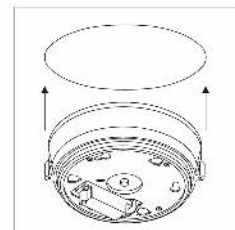
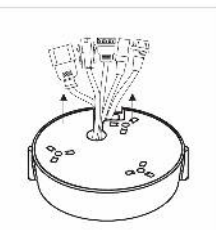
時計回りにカメラ本体を回します。



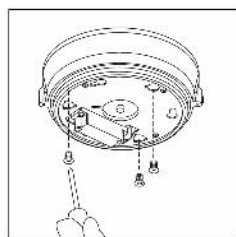
カメラ本体とベースを切り離します。



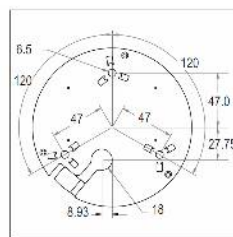
全てのケーブルを中央に寄せ、天井の穴に通します。



カメラベースを天井に取り付けます。

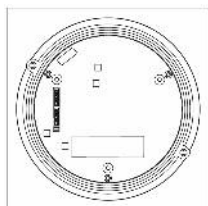


天井に3本のタッピング
ネジで取り付けます。



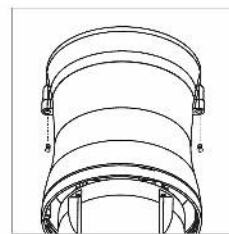
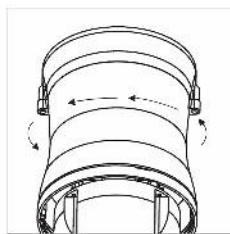
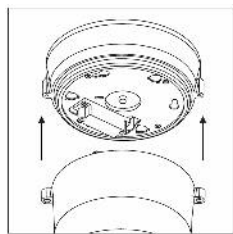
ベースサイズとネジ

7-2-2. ディップスイッチの設定



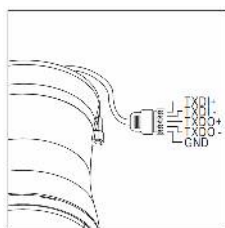
アドレス/アラーム出力/RS-485 を
設定します。(P5 参照)

7-2-3. カメラ本体とベースの取り付け

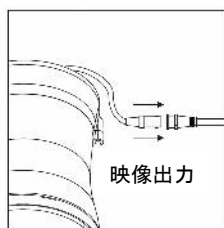


カメラ本体をベースに装着、反時計方向に回して位置を確認、
取り外したネジで固定します。

7-2-4. ケーブルの接続



RS-485 ケーブル

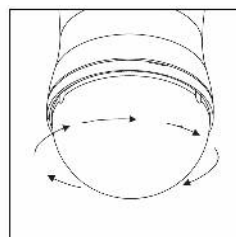
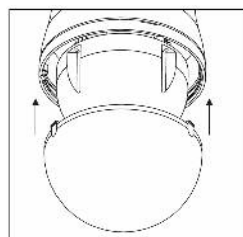


映像出力ケーブル



アラームケーブル
(各部の名称参照)

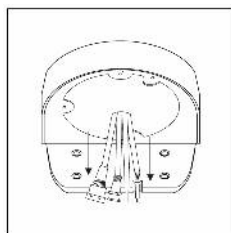
7-2-5. ドームカバー取り付け



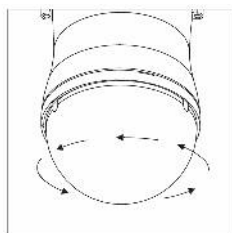
ドームカバーをカメラ本体に取り付け、時計方向に回してドームカバーを取り付けます。
ドームカバー装着後、カバーの汚れをふきとってください。

7-3. 壁付の時(壁付の場合は別売のブラケット MMB-76WM が必要です)

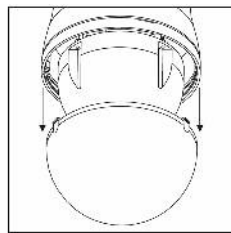
7-3-1. 入力線の接続



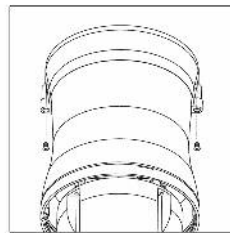
ブラケットを固定、各ケーブルを引き出します。



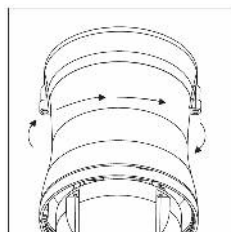
ドームカバーを反時計方向に回してはずします。



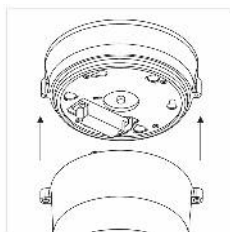
ドームカバーをカメラからはずします。



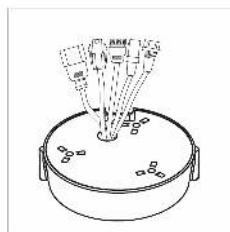
ベースから2つのネジを緩めます。



時計回りにカメラ本体を回します。

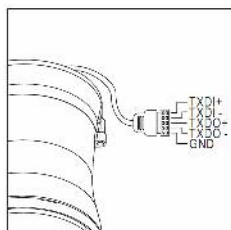


カメラ本体とベースを切り離します。

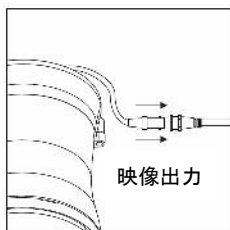


全てのケーブルを中央に寄せます。

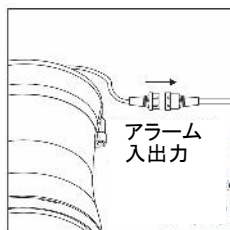
7-3-2. ケーブルの接続



RS-485 ケーブル

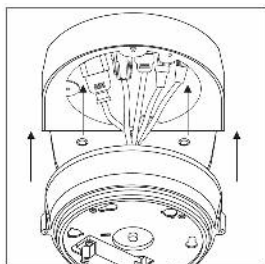


映像出力ケーブル

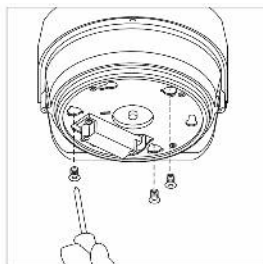


アラームケーブル
(各部の名称参照)

7-3-3. カメラ本体とベースの取り付け

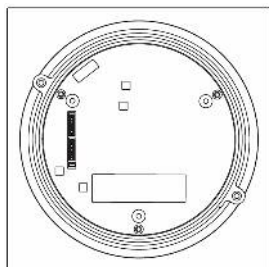


ケーブルを接続してベースとブラケットを取り付けます。



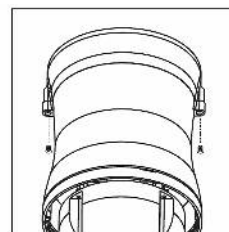
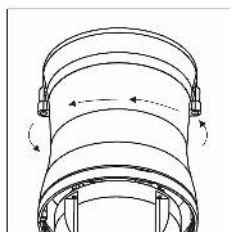
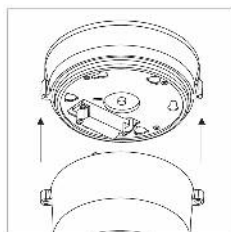
3本のタッピングネジで固定します。

7-3-4. ディップスイッチの設定



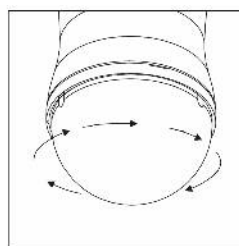
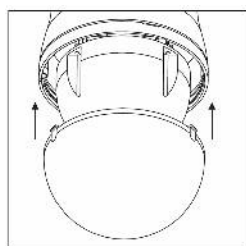
アドレス/アラーム出力/RS-485 を
設定します。(P5 参照)

7-3-5. カメラ本体とベースの取り付け



カメラ本体をベースに装着、反時計方向に回して位置を確認、取り外したネジで固定します。

7-3-6. ドームカバー取り付け



ドームカバーをカメラ本体に取り付け、時計方向に回してドームカバーを取り付けます。
ドームカバー装着後、カバーの汚れをふきとってください。

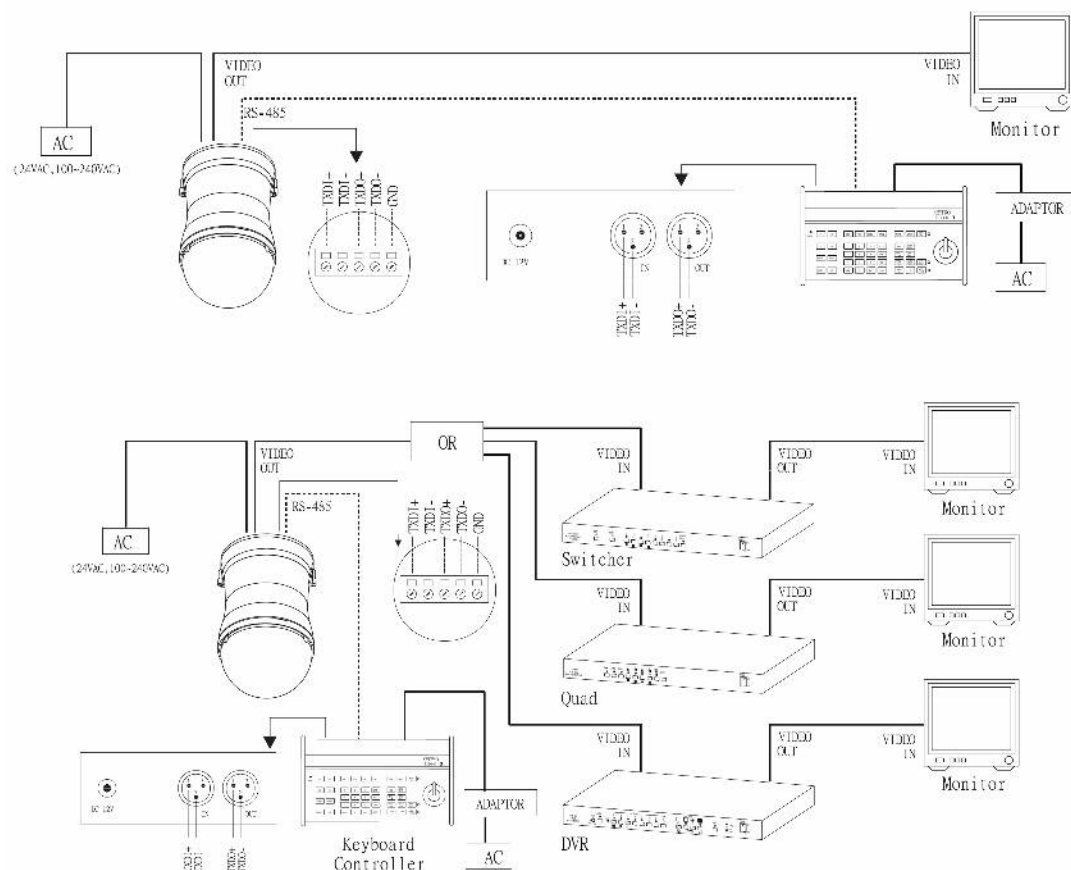
8. 接続例

- カメラとキーボード間の通信ケーブルは 2 芯のツイストペアケーブルで接続します。
(0.75 mm以上のケーブルを使用、最大 1km まで延長できます。)
- カメラからの映像信号は同軸ケーブルでモニタ、スイッチャ、4 分割ユニットなどに接続します。

■ RS-485 の配線

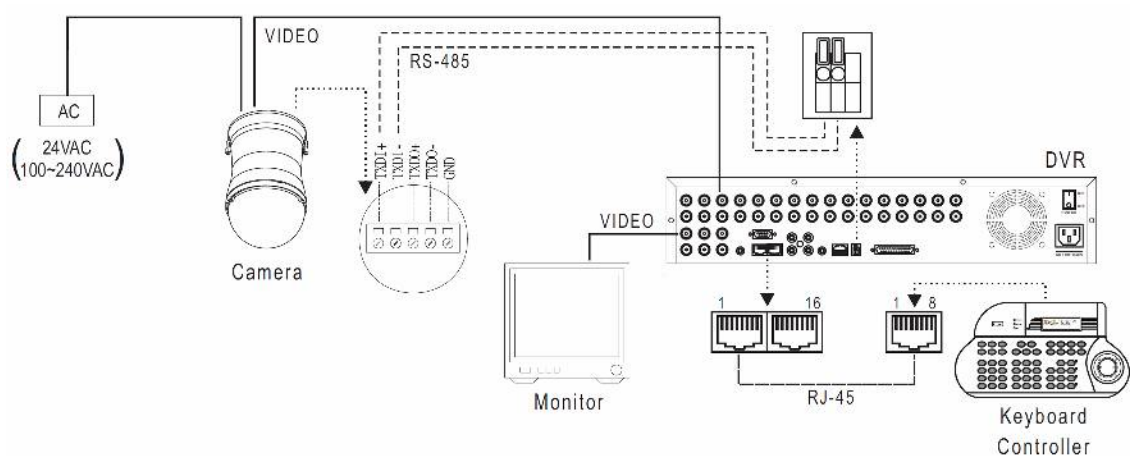
キーボード IN		1 番目のスピードドーム		次のスピードドーム	
3 ピンコネクタ 1	→	TXDI +	TXDO +	→	TXDI +
3 ピンコネクタ 2	→	TXDI -	TXDO -	→	TXDI -

8-1. スピードドームとキーボードが各 1 台の接続



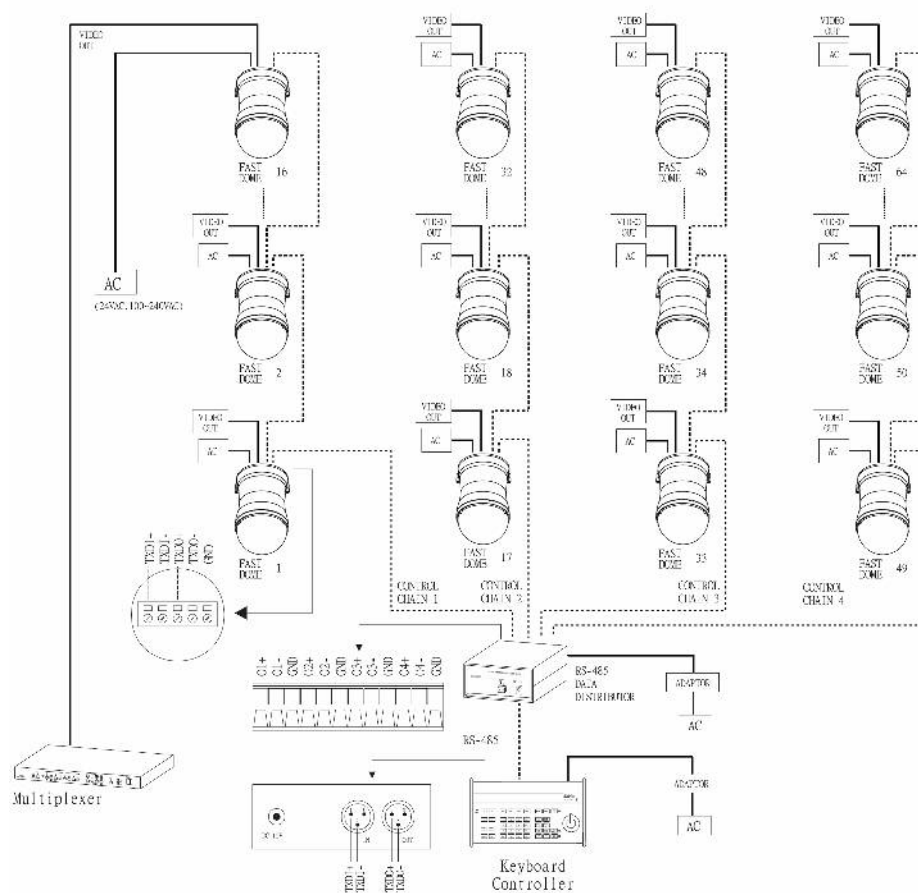
8-2. スピードドーム/DVR/キーボードの接続

DVRによる遠隔制御は標準のRS-485で行なわれます。スピードドームの制御はDVR前面パネルのまたはリモコン操作とキーボードのいずれからでも行なうことができます。1台のDVRでデジー接続された16台までのスピードドームを管理できます。



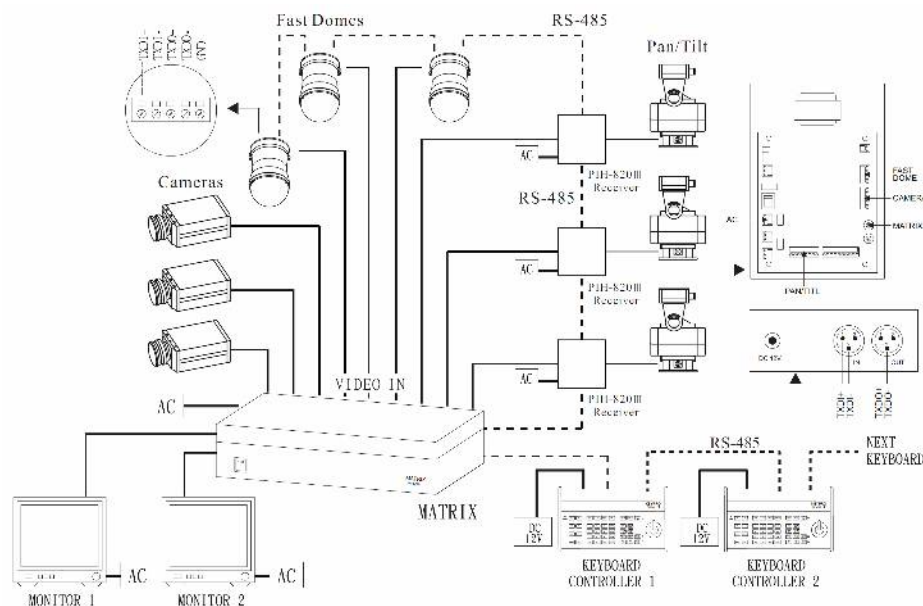
8-3. スター結線(スピードドーム複数台、キーボード1台、制御信号分配器1台の時)

- ・ PTZ カメラは最大 64 台まで接続可能です。
- ・ 制御信号分配器は 1 入力 4 分配です。



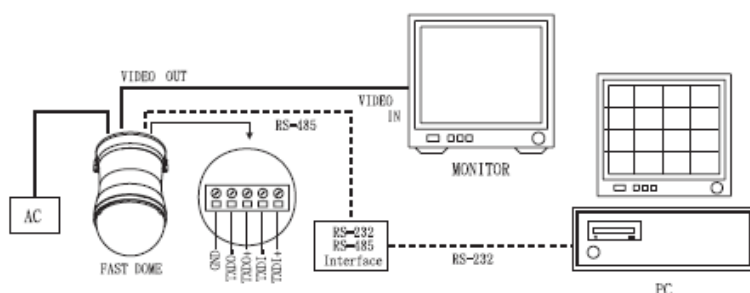
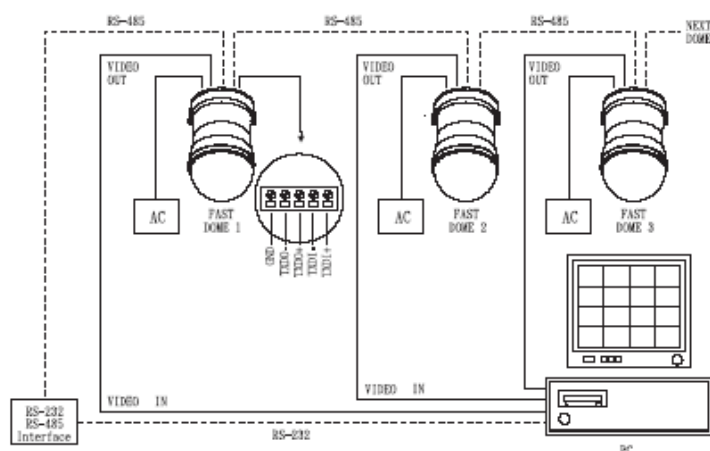
8-4. スピードドーム/マトリックススイッチャ/キーボードの接続

(注) キーボード(RS-485)の配線はキーボード増設器の取説を参照してください。



8-5. スピードドームと PC の接続

PC による遠隔制御は標準の RS-485 で行なわれます。PC の RS-232C ポートを変換器で RS-485 に変換してください。このシステムでは、64 台までのスピードドームをリンクできます。



9. 操作

【前準備】

スピードドームとキーボードのプロトコルが同じになるように設定してください。

システムの中に旧タイプのスピードドーム MSD-7000NF、MSD7600NF、MSD-7625NF または旋回台用受信機 PIH-820 が混在する場合は MLP1 を選択し、それ以外は MLP2 を選択してください。

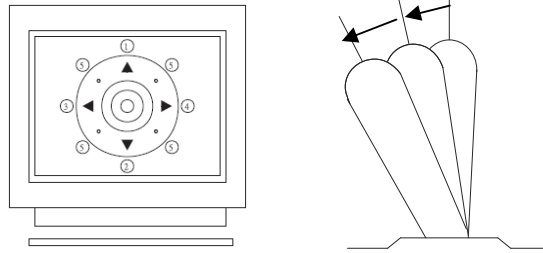
(注)MKB-800Ⅲの「CAM SETUP」釦は MKB-931D では「SET」釦になります。本書では「CAM SETUP」釦と記載しますが、MKB-931D をご使用の際は、「SET」釦と読み替えてお使いください。

9-1. マニュアル操作

- ・ スピードドームに電源を投入すると、自動的に自己診断を開始し、基本機能をチェックして停止します。
- ・ 自己診断を行なっている間は、操作ができません。
- ・ プリセットとツアーが設定されていて電源を切った場合、電源が復帰すると、スピードドームは自己診断が終了すると自動的にオートスキャンモードに入ります。
- ・ オペレーターがキャンセルするまで、スピードドームはオートスキャンを続けます。

9-1-1. ジョイスティックの操作

ジョイスティックによりパンチルトの操作ができます。



- ① 上へ : ジョイスティックを上へ倒します。
- ② 下へ : ジョイスティックを手前に倒します。
- ③ 左へ : ジョイスティックを左へ倒します。
- ④ 右へ : ジョイスティックを右へ倒します。
- ⑤ 斜め : 斜めにジョイスティックを倒します。カメラはその方向へ回転します。

9-1-2. スピードドームの選択

はじめに「1」→「MON」と押し、表示するモニタを選択します。

例 1. アドレス 1 番のスピードドームの選択

1 → CAM

例 2. アドレス 64 番のスピードドームの選択

6 → 4 → CAM

9-1-3. ズームレンズ制御

ZOOM IN : モニタ画面上で被写体が大きくなります。(拡大)
ZOOM OUT : モニタ画面上で被写体は小さくなります。

9-1-4. フォーカス制御

FOCUS FAR : 焦点が遠くなります。
FOCUS NEAR : 焦点が近くなります。
AUTO FOCUS : 自動的に焦点をあわせます。

9-1-5. アイリス制御

IRIS O : 絞りを開け画面を明るくします
IRIS C : 絞りを閉じ画面を暗くします。
AUTO IRIS : 最適な明るさになるよう、自動的に絞りを調整します。

9-1-6. 水平方向 180 度回転

180 REV : カメラの向きを水平方向に瞬時に 180 度回転させます。

それぞれのスピードドームには 128 箇所のプリセット位置を設定することができます。
最初の 16 箇所のプリセット位置 (プリセット番号 1~16) はオートパンモードでも使用されます。

(プリセット位置は OSD メニューからも設定できます。詳しくは 11-3-3. **プリセットの設定**を参照してください。)

- 設定例：

- 数字釦で 1～128 のプリセット番号を入力し「PRESET」釦を押してください。入力されたプリセット番号にプリセットデータが登録されている場合、スピードドームは自動的に登録されたアングルになります。プリセットデータが登録されていない場合、スピードドームのアングルは変わりません。

操作例：プリセット番号1の呼び出し 1 → PRESET

各スピードドームカメラのプリセット番号 1～16 は自動的に次のように 4 つのプリセットグループに振り分けられます。

プリセットグループ 1 : プリセット番号 1、2、3、4
 プリセットグループ 2 : プリセット番号 5、6、7、8
 プリセットグループ 3 : プリセット番号 9、10、11、12
 プリセットグループ 4 : プリセット番号 13、14、15、16

オートパン(ツアー)は登録されたグループに含まれるプリセット番号(プリセット位置)を順にたどります。
従ってオートパン機能を使用する用途では、プリセットはオートパン動作を考慮して設定してください。

登録例 1 : プリセットグループ 1 をオートパンに登録

数字釐「1」に続き「F4」釐を押してください。

1 → F4

登録例 2 : プリセットグループ 2、3、4 をオートパンに登録

数字釐「2」、「3」、「4」に続き「F4」釐を押してください。

$$2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow F4$$

9-2-4. オートパンの実行

オートパンが実行されると、スピードドームは登録されたプリセットグループのプリセット位置を自動的にたどりまします。

① 「AUTO PAN」釦を押してください。AUTO PAN の LED が点灯し、オートパンが開始されます。

② 再度「AUTO PAN」釦を押すと AUTO PAN の LED が消灯し、オートパンが停止します。

(注) オートパン実行中のスピードドームをマニュアル操作することはできません。マニュアル操作はオートパンを停止してから行ってください。

オートパン実行中のスピードドームがシステム内にあっても、実行中でない他のスピードドームをマニュアル操作することは可能です。

9-2-5. プリセットデータの変更

9-2-1. プリセット位置の設定の方法で再度設定し直すことにより、前のデータが新たに設定されたデータに上書きされます。

9-2-6. プリセットデータの一括削除

数字釦で「9」、「0」、「1」、「1」と入力し「CLR」釦を押すと、設定されたすべてのプリセットデータが一括して削除されます。

9-2-7. プリセットデータの個別削除 (MLP2 のみ有効)

「SHIFT」釦に続き数字釦でプリセット番号を入力し、「PRESET」釦 → 「CLR」釦と押すと、入力したプリセット番号のプリセットデータが削除されます。

9-3. アラーム

それぞれのスピードドームの 6 アラーム入力は最初の 6 プリセット位置に対応しています。アラーム信号が入力するとスピードドームは 360 度/秒のスピードで対応するプリセット位置に回転します。

アラーム入力は検知器の仕様に依じて NC、NO のいずれにも設定できます。

9-3-1. アラーム入力とプリセット位置

アラーム入力 1 プリセット位置 1

アラーム入力 2 プリセット位置 2

アラーム入力 3 プリセット位置 3

アラーム入力 4 プリセット位置 4

アラーム入力 5 プリセット位置 5

アラーム入力 6 プリセット位置 6

9-3-2. アラーム出力

スピードドームは 1 つのアラーム出力を有しており、DIP スイッチにより NC、NO のいずれにも設定できます。

9-3-3. アラーム解除

アラームを解除するには、次の 4 通りの方法があります。

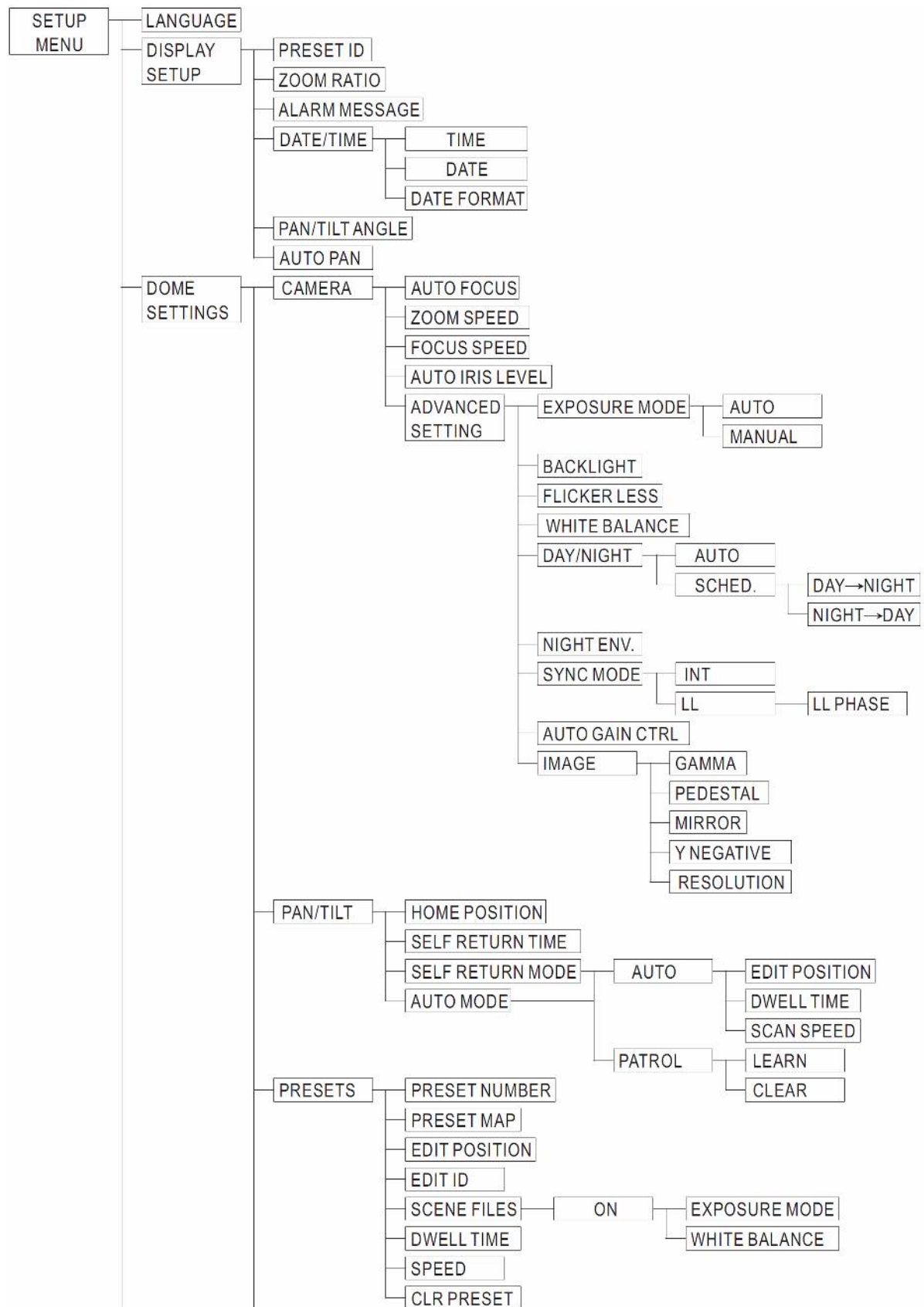
① 手動で旋回またはレンズの操作を行う。

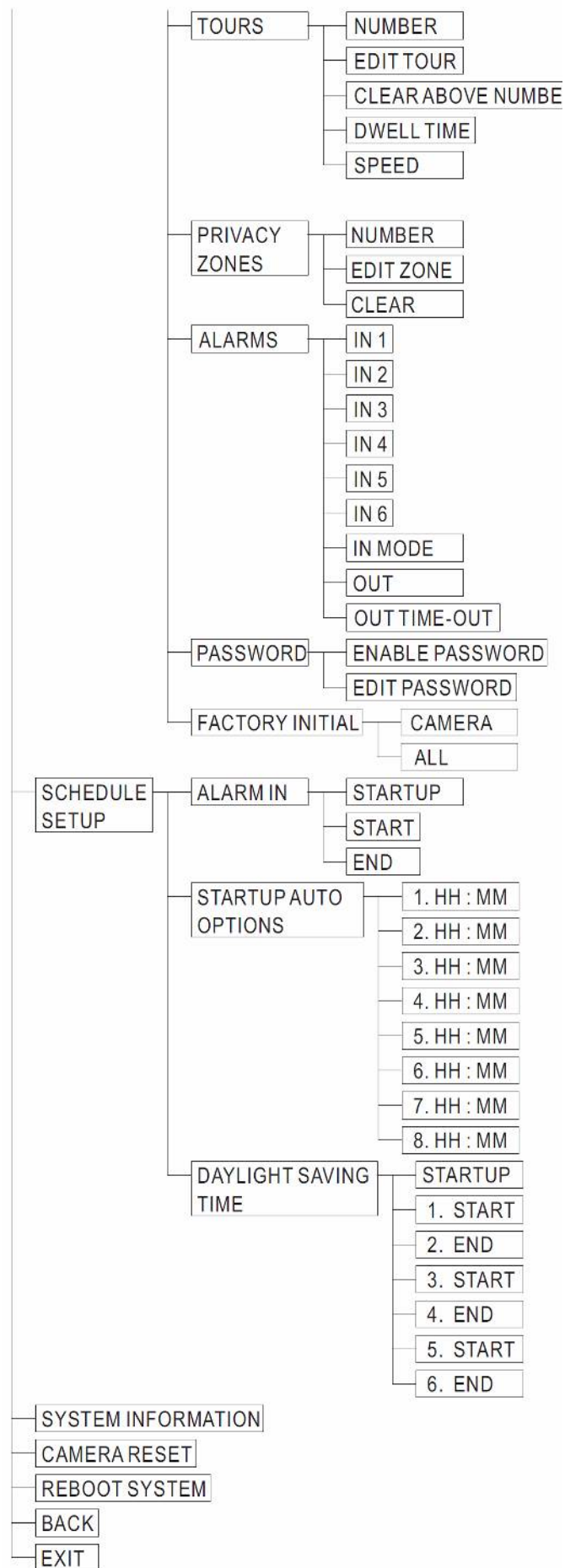
② 「ALARM RESET」釦を押す。

③ プリセット位置の呼び出しをする。

④ 「AUTO PAN」釦を押し、オートパンを実行する。

10. 設定メニュー画面一覧





11. スピードドームの設定

MSD-7625DHNH/MSD-7635DHNH は、モニタに表示される OSD メニューに従って、設定をします。

【設定メニュー表示及び基本操作】

- ・「CAM SETUP」釦を押してメインメニューを開きます。
- ・ジョイスティックの上下操作で設定項目を選択、左右操作でサブ項目の選択(または数値の変更)をします。
- ・「ESC」釦を押すかジョイスティックで「EXIT」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して終了します。
- ・メニューの項目が<>で囲まれている場合、さらにサブメニューが存在することを表します。

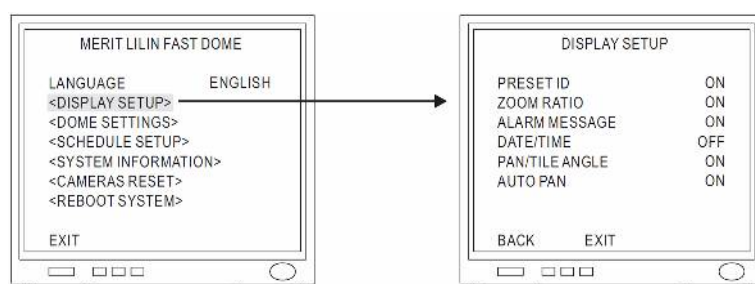


11-1. 言語選択

- ・「CAM SETUP」釦 → 「LANGUAGE」を選択 → 下記を選択
ENGLISH→FRANCAIS→DEUTSCH→ESPANOL→POLISKI→繁體中文→ 以後繰り返し
- ・「ESC」釦を押すかジョイスティックで「EXIT」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して終了します。

11-2. 文字表示設定 (DISPLAY SETUP)

- ・「CAM SETUP」釦 → 「DISPLAY SETUP」を選択 → サブメニューを表示



11-2-1. プリセット番号表示設定 (PRESET ID)

- ・ジョイスティックの上下操作で「PRESET ID」を選択、左右操作で下記項目を設定します。
 - OFF : プリセット番号を表示しません。
 - ON : プリセット番号を常時表示します。
 - 5~30sec : プリセットが呼ばれた時、設定した秒数だけプリセット番号を表示します

11-2-2. ズーム倍率表示設定 (ZOOM RATIO)

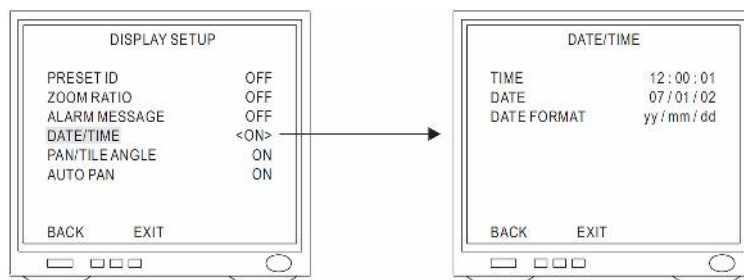
- ・ジョイスティックの上下操作で「ZOOM RATIO」を選択、左右操作で下記項目を設定します。
 - OFF : ズーム倍率を表示しません。
 - ON : ズーム倍率を常時表示します。
 - 5~30sec : 設定した秒数だけズーム倍率を表示します。

11-2-3. アラームメッセージ表示設定 (ALARM MESSAGE)

- ・ジョイスティックの上下操作で「ALARM MESSAGE」を選択、左右操作で下記項目を設定します。
 - OFF : アラームメッセージを表示しません。
 - ON : アラームメッセージを常時表示します。
 - 5~30sec : 設定した秒数だけアラームメッセージを表示します。

11-2-4. 日付・時間設定 (DATE/TIME)

- ・ジョイスティックの上下操作で「DATE/TIME」を選択、左右操作で下記項目を設定します。



OFF : 日付・時間を表示しません。

ON : 日付・時間設定画面に入り、設定後常時表示します。

① 時間設定 (TIME)

- ・ジョイスティックの上下操作で「TIME」を選択、「CAM SETUP」釦を押して、左右操作で数値を調整し、「CAM SETUP」釦を押して次の項目に移動します。

12:00:01 → 「CAM SETUP」釦 → 12:00:01 → 「CAM SETUP」釦 → 12:00:01 → 「CAM SETUP」釦 → 12:00:01

② 日付設定 (DATE)

- ・ジョイスティックの上下操作で「DATE」を選択、「CAM SETUP」釦を押して、左右操作で数値を調整し、「CAM SETUP」釦を押して次の項目に移動します。

07:01:02 → 「CAM SETUP」釦 → 07:01:02 → 「CAM SETUP」釦 → 07:01:02 → 「CAM SETUP」釦 → 07:01:02

③ 年月日表示フォーマット設定 (DATE FORMAT)

- ・ジョイスティックの上下操作で「DATE FORMAT」を選択、左右操作でフォーマットを設定します。

→ yy / mm / dd → mm / dd / yy → dd / mm / yy

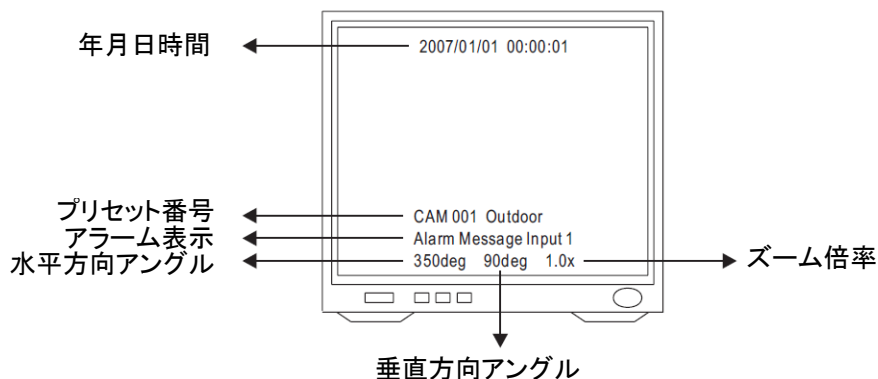
11-2-5. パンチルトアングル表示設定 (PAN/TILT ANGLE)

- ・ジョイスティックの上下操作で「PAN/TILT ANGLE」を選択、左右操作で設定します。

OFF : パンチルトアングルは表示しません。

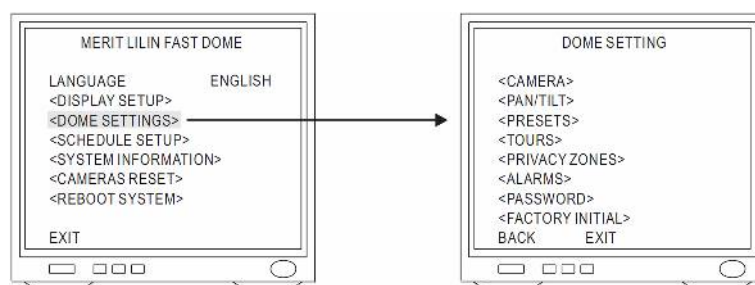
ON : パンチルトアングルを角度で常時表示します。

● モニタ表示文字について



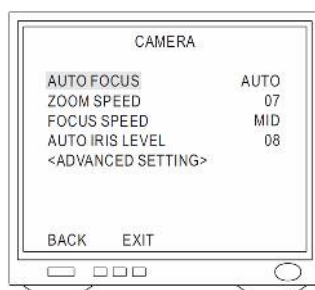
11-3. スピードドーム機能設定 (DOME SETTINGS)

- ・ 「CAM SETUP」釦を押してメニューを開きます。
- ・ ジョイスティックの上下操作で「DOME SETTINGS」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



11-3-1. カメラ設定 (CAMERA)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「CAMERA」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



① オートフォーカス設定 (AUTO FOCUS)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「AUTO FOCUS」を選択、左右操作でオートフォーカス機能を選択します。

AUTO → ONE PUSH → 以後繰り返し

AUTO : 常にオートフォーカス機能が働きます。

ONE PUSH : オートパン動作時またはズームのマニュアル操作時のみオートフォーカス機能が働きます。

② ズームスピード設定 (ZOOM SPEED)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「ZOOM SPEED」を選択、左右操作でスピードを設定します。

ズームスピードは 00～07 です。(07 が最大スピードです。)

③ フォーカススピード設定 (FOCUS SPEED)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「FOCUS SPEED」を選択、左右操作でスピードを設定します。

SLOW → MID → FAST → 以後繰り返し (低速 → 中速 → 高速)

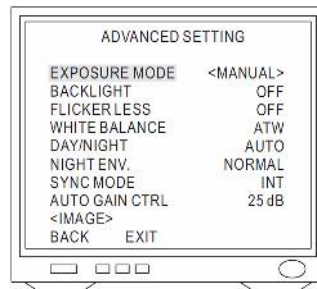
④ オートアイリス感度設定 (AUTO IRIS LEVEL)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「AUTO IRIS LEVEL」を選択、左右操作でアイリスレベルを設定します。

オートアイリス感度 00～15

⑤ カメラ詳細設定 (ADVANCED SETTING)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「ADVANCED SETTING」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



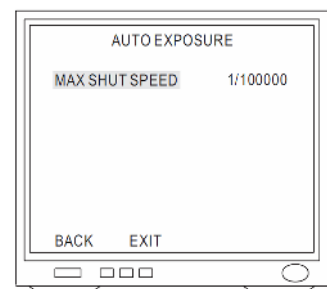
(1) 露出モードの設定 (EXPLOSURE MODE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EXPOSURE MODE」を選択、左右操作で AUTO/MANUAL を設定します。

AUTO : 自動露出、明るさの変化によりシャッタースピードが自動的に選択されます。

- ・ 「AUTO」を選択中に、「CAM SETUP」釦を押し、左右操作で下記の中から最速のシャッタースピードを選択します。

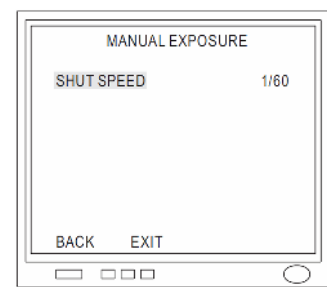
➤ 1/250 → 1/500 → 1/1000 → 1/2000
1/100000 ← 1/10000 ← 1/4000 ←



MANUAL : 手動露出、シャッタースピードを固定します。

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EXPOSURE MODE」→「MANUAL」を選択し「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。
- ・ 左右操作で下記の中からシャッタースピードを選択します。

➤ 1/60 → 1/100 → 1/250 → 1/500 → 1/1000
1/100000 ← 1/10000 ← 1/4000 ← 1/2000 ←



(2) 逆光補正の設定 (BACKLIGHT)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「BACKLIGHT」を選択、左右操作で ON/OFF を設定します。

ON : 逆光補正機能が働きます。

OFF : 逆光補正機能は働きません。

(3) フリッカレス機能設定 (FLICKERLESS)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「FLICKERLESS」を選択、左右操作で ON/OFF を設定します。

ON : シャッタースピードは 1/100 に固定され、50Hz 地域では蛍光灯下のチラツキを軽減します。

(4) ホワイトバランス設定 (WHITE BALANCE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「WHITE BALANCE」を選択、左右操作で設定します。

ATW → PUSH → MWB → 以後繰り返し

ATW : 周囲の色温度に自動的に追尾します。

PUSH : ATW 設定時より速く動作します。

MWB : 手動操作でホワイトバランスを調整します。

「MWB」選択時に「CAM SETUP」釦を押し、画面を見ながらジョイスティックの左右操作でホワイトバランスを調整してください。最適ところで「CAM SETUP」釦を押すと、ホワイトバランスはその状態が記憶され固定されます。

(5) DAY/NIGHT モードの設定 (IR CUT REMOVE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「IR CUT REMOVE」を選択、左右操作で設定をします。

AUTO → SCHED → DAY → NIGHT → 以後繰り返し

「AUTO」

被写体照度が 10 ルクス以上のとき DAY モードになり、カラー映像を出力します。5 ルクス以下になると NIGHT モードになり、白黒映像を出力します。白黒モードでは感度が 0.01 ルクスに上がり、赤外線照明器が使用できます。

「SCHED」

指定した時間で自動的に DAY モードと NIGHT モードが切り替えられます。

「SCHED」を選択中に「CAM SETUP」釦を押すと「ICR SCHEDULE」設定メニューになります。ジョイスティックの上下操作で「DAY→NIGHT」を選択、「CAM SETUP」釦を押し、ジョイスティックの左右操作で切り替え時間を設定します。

例: 18:00 → 「CAM SETUP」 → 18:00 → 「CAM SETUP」 → 18:00

「NIGHT→DAY」も同様に設定します。



「DAY」

常時 DAY モードになり、カラー映像を出力します。

「NIGHT」

常時 NIGHT モードになり、白黒映像を出力します。

(6) 夜間環境設定 (NIGHT ENV.)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「NIGHT ENV.」を選択、左右操作でモードを選択します。

NORMAL : 夜間照明として一般的な照明が使用される場合は、このモードを選択します。

IR LIGHT : 夜間照明として赤外線照明が使用される場合は、このモードを選択します。

(7) 同期設定 (SYNC MODE) (50Hz 地域では必ず「INT」を選択してください)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「SYNC MODE」を選択、左右操作でモードを選択します。

INT : 内部同期

LL : 電源同期

「LL」を選択中に「CAM SETUP」釦を押すと「LINE LOCK」設定メニューになります。ジョイスティックの左右操作で位相を調整してください。

調整範囲 : 0~100 ステップ (3.5 度/ステップ)

(0~350 度)

(8) AGC 設定 (AUTO GAIN CTRL)

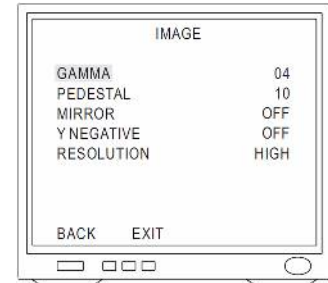
- ・ ジョイスティックの上下操作で「AUTO GAIN CTRL」を選択、左右操作で設定します。

設定範囲 : 0 dB～36dB

(9) イメージ設定 (IMAGE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「IMAGE」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと「IMAGE」設定メニューになります。各項目はジョイスティックの上下操作で選択し、左右操作で設定してください。

GAMMA	: ガンマー設定 00～07
PEDESTAL	: 黒レベル設定 00～15
MIRROR	: ミラー反転 ON/OFF
Y NEGATIVE	: Y 信号を反転します。 ON/OFF
RESOLUTION	: 解像度の設定 High : 520 TV本 / Normal : 480 TV本



11-3-2. パンチルト設定 (PAN/TILT)

スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「PAN/TILT」を選択、「CAM SETUP」釦を押してパンチルト「PAN/TILT」設定画面を開きます。

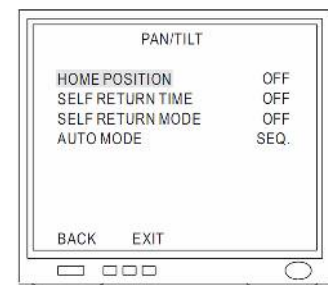
さらにサブメニューを上下操作で選択、左右操作で選択します。

① ホームポジション設定 (HOME POSITION)

OFF : ホームポジションは設定しません。

1-128 : 指定したプリセット番号がホームポジションになります。

キーボードを使用しない場合、復帰モードを「HOME」に設定しておくと復帰時間経過後復帰モード機能が働きホームポジションに戻ります。



② 自己復帰時間の設定 (SELF RETURN TIME)

OFF : 復帰モードにはなりません。

3 秒～60 分 : 指定した時間後に復帰モードに入ります。

キーボードを使用しない場合、復帰時間経過後復帰モード機能が働きます。

③ 自己復帰モードの設定 (SELF RETURN MODE)

OFF → HOME → SCAN → SEQ → TOUR1 → TOUR2 → PATROL → 以後くりかえし

OFF : そのままの状態です。

HOME : ホームポジションに戻ります。

SCAN : オートスキャンモードを実行します。

SEQ : プリセットグループモードを実行します。

TOUR1 : パターン1のツアーモードを実行します。

TOUR2 : パターン2のツアーモードを実行します。

PATROL : 記憶されたパトロールモードを実行します。

④ オートパンモードの設定 (AUTO MODE)

OFF → SCAN → SEQ → TOUR1 → TOUR2 → PATROL → 以後くりかえし

- OFF : オートパンは動作しません。
- SCAN : オートスキャンモードを実行します。
- SEQ : プリセットグループモードを実行します。
- TOUR1 : パターン1のツアーモードを実行します。
- TOUR2 : パターン2のツアーモードを実行します。
- PATROL : 記憶されたパトロールモードを実行します。

キーボードの「AUTO PAN」釦を押すとオートパンモードが実行されます。

⑤ オートスキャンモードの設定

オートスキャンモードでは設定された2箇所の位置を繰り返し往復します。

ジョイスティックの上下操作で「AUTO MODE」または「SELF RETURN MODE」を選択、左右操作で「AUTO」を選択、「CAM SETUP」釦を押し、設定画面を開きます。

● 位置設定

ジョイスティックの上下操作で「EDIT POSITION」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定メニューに入ります。

ジョイスティックの上下左右操作、「ZOOM IN/OUT」釦、「FOCUS FAR/NEAR」釦、「IRIS O/C」釦でオートスキャンの開始位置を設定し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

同様にオートスキャンの終了位置を設定し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

● 停止時間の設定

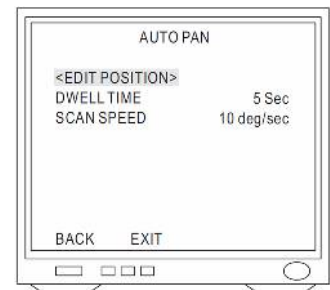
ジョイスティックの上下操作で「DWELL TIME」を選択し、左右操作で時間を設定します。

設定範囲 : 1～255 秒

● スキャンスピードの設定

ジョイスティックの上下操作で「SCAN SPEED」を選択し、左右操作でスピードを設定します。

設定範囲 : 1～40 度/秒



⑥ パトロールモードの設定 (PATROL)

パトロールモードはオペレーターの PTZ 操作を記憶させ、記憶させた操作を呼び出して実行します。

ジョイスティックの上下操作で「AUTO MODE」または「SELF RETURN MODE」を選択、左右操作で「PATROL」を選択、「CAM SETUP」釦を押し、設定画面を開きます。

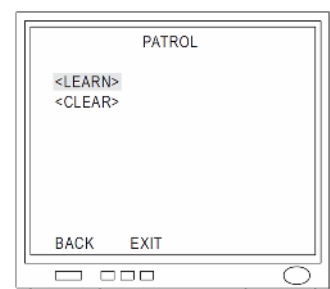
● パトロールの学習<LEARN>

ジョイスティックの上下操作で「LEARN」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定モードに入ります。ジョイスティックとレンズ制御釦で PTZ を操作し、パトロールの学習を開始します。この時、画面下部のメモリ容量表示が 100 パーセントから減っていきます。

操作が終了したら「CAM SETUP」釦を押し、その操作を記憶させます。

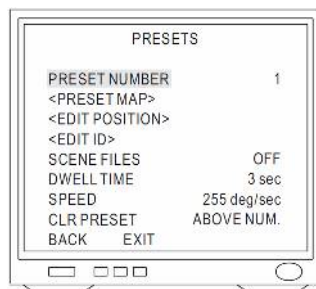
● メモリの削除<CLEAR>

ジョイスティックの上下操作で「CLEAR」を選択し「CAM SETUP」釦を押すと、記憶されたパトロールは削除されます。



11-3-3. プリセット設定 (PRESETS)

- ・ スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「PRESETS」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



① プリセット番号の選択

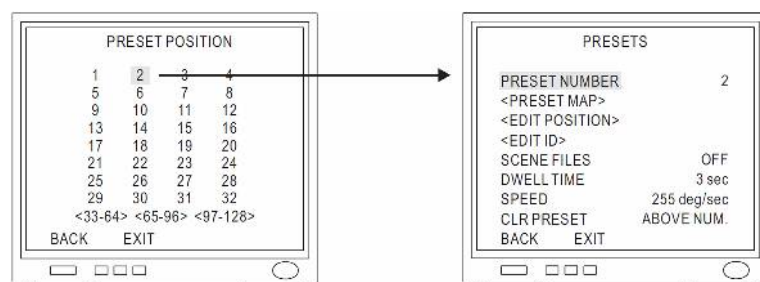
(1) 数値による選択 (PRESET NUMBER)

ジョイスティックの上下操作で「PRESET NUMBER」を選択し、左右操作で数値を決定します。

(1～128)

(2) プリセットマップによる選択 (PRESET MAP)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「PRESET MAP」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと1から64までのプリセットマップが表示されます。
- ・ ジョイスティックの上下左右操作で番号を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定します。
- ・ ジョイスティックの上下左右操作で<33-64>を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと33から64までのプリセットマップが表示されます。<65-96>、<97-128>も同様に行ないます。



② プリセット位置の設定 (EDIT POSITION)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT POSITION」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。
- ・ ジョイスティックの上下左右操作およびレンズ制御釦でスピードドームのアングルを設定し、「CAM SETUP」釦で設定します。

③ プリセットIDの設定 (EDIT ID)

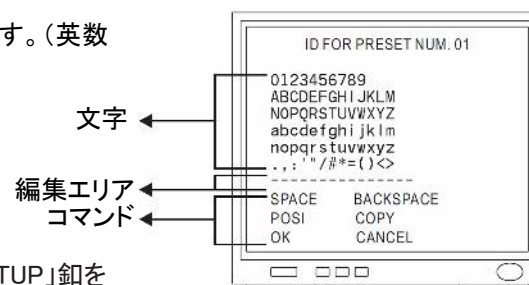
- ・ 個々のプリセット位置に名前をつけることができます。(英数字のみ)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT ID」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

(1) 新しいプリセットIDの編集

- ・ ジョイスティックの操作で文字を選択し、「CAM SETUP」釦を

押して確定します。選択された文字は編集エリアに表示されます。文字間にスペースが必要な場



合は、ジョイスティックで「SPACE」を選択し、「CAM SETUP」釦を押してください。

- ・「IRIS O」または「IRIS C」釦を押すと、次の文字リストが表示されます。
- ・この手順を繰り返し、プリセット ID を完成させてください。

(2) プリセット ID のコピー

- ・ジョイスティックの上下操作で編集エリアを選択し、左右操作でコピーする最初の文字を選択します。
- ・ジョイスティックの上下操作で「COPY」を選択し、「CAM SETUP」釦を押します。この時プリセット ID の最初の文字が別のプリセット ID の最初の文字としてコピーされます。次の文字をコピーするには再度「CAM SETUP」釦を押します。
- ・ジョイスティックの上下操作で「OK」を選択し、「CAM SETUP」釦を押してこの設定画面を抜け出します。プリセット設定メニューからコピー先となるプリセット番号を選択し、プリセット ID 設定画面を表示させます。ジョイスティックの上下操作で編集エリアを選択し、「CAM SETUP」釦を押すと編集エリアにコピーされた文字が表示されます。

(3) プリセット ID の変更

- ・ジョイスティックの上下操作で編集エリアを選択し、左右操作で変更する文字を選択します。
- ・ジョイスティックで新しい文字を選択し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

(4) プリセット ID のキャンセル

- ・ジョイスティックの上下操作で「CANCEL」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すとプリセット ID がキャンセルされます。

(5) プリセット ID の表示位置設定

- ・ジョイスティックの上下操作で「POS1」を選択し、「CAM SETUP」釦を押します。
- ・ジョイスティックでプリセット ID の文字枠を移動し、「CAM SETUP」釦を押して表示位置を確定します。

(6) プリセット設定メニューに戻る

- ・ジョイスティックの上下操作で「OK」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すとプリセット設定メニューに戻ります。

④ プリセットのシーンファイル設定 (SCENE FILES)

- ・プリセット位置に対して露出モードとホワイトバランスを設定することができます。「SCENE FILES」を ON にすると、その設定はプリセットデータの一部となります。
- ・ジョイスティックの上下操作で「SCENE FILES」を選択し、左右操作で ON/OFF を決定します。

露出モード(EXPOSURE MODE) : 自動(AUTO) / 手動(MANUAL)

ホワイトバランス(WHITE BALANCE) : ATW/ PUSH / MWB

⑤ 停止時間設定 (DWELL TIME)

- ・ジョイスティックの上下操作で「DWELL TIME」を選択し、左右操作で秒数を決定します。

停止時間設定範囲 : 1～255 秒

- ・オートパンのグループに組み入れることのできるプリセット番号が 1～16 であるため、停止時間の設定できるプリセット番号も 1～16 になります。

⑥ 回転速度の設定 (SPEED)

- ・ジョイスティックの上下操作で「SPEED」を選択し、左右操作で回転速度を決定します。

回転速度設定範囲 : 1～255 度/秒

⑦ プリセットデータの削除 (CLEAR PRESET)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「CLR PRESET」を選択し、左右操作で「ABOVE NUM」または「ALL」を選択します。

ABOVE NUM : 選択したプリセット番号のデータを削除します。

ALL : すべてのプリセット番号のデータを削除します。(1~128)

11-3-4. ツアー機能の設定 (TOURS)

- ・ スピードドーム機能設定「DOVE SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「TOURS」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

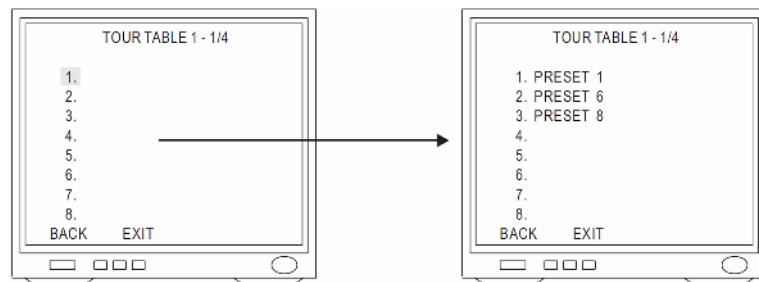


① ツアー番号の選択 (NUMBER)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「NUMBER」を選択、左右操作で 1 または 2 を選択します。

② ツアーの編集 (EDIT TOUR)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT TOUR」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して編集画面を開きます。
- ・ ジョイスティックの上下操作で数字を選択します。カーソルが最後の行にある時、さらにジョイスティックを下に向けると次のページに移ります。1つのテーブルには 32 のプリセットが登録できます。
- ・ ジョイスティックの左右操作でプリセット番号を選択します。
- ・ ツアーに必要なプリセット番号をすべて登録したら「CAM SETUP」釦を押して確定します。
- ・ ジョイスティックで「BACK」を選択し「CAM SETUP」釦を押すとツアー設定メニュー「TOURS」に戻ります。また「EXIT」を選択し「CAM SETUP」釦を押すと設定画面から抜け出します。



③ ツアーの削除 (CLEAR ABOVE NUMBER)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「CLEAR ABOVE NUMBER」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと、「NUMBER」で選択された番号のツアーデータが削除されます。

④ 停止時間の設定 (DWELL TIME)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「DWELL TIME」を選択し、左右操作で秒数を決定します。

停止時間設定範囲 : 1~255 秒

- ・ 自己復帰モード「SELF RETURN MODE」またはオートパンモード「AUTO MODE」にツアーが設定されている場合、オートパンの停止時間はツアーで設定した停止時間になります。

⑤ 回転速度の設定 (SPEED)

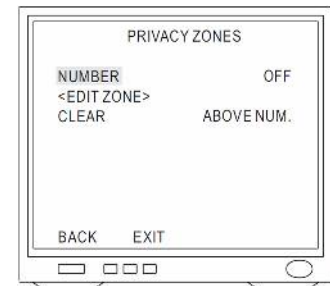
- ・ ジョイスティックの上下操作で「SPEED」を選択し、左右操作で回転速度を決定します。

回転速度設定範囲 : 1~255 度/秒

- ・ 自己復帰モード「SELF RETURN MODE」またはオートパンモード「AUTO MODE」にツアーが設定されている場合、オートパンの回転速度はツアーで設定した回転速度になります。

11-3-5. プライバシーゾーンの設定 (PRIVACY ZONES)

- ・ スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「PRIVACY ZONES」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

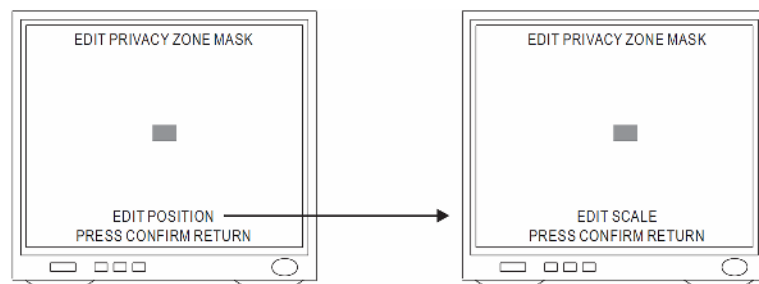


① プライバシーゾーン番号の設定 (NUMBER)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「NUMBER」を選択、左右操作で1~8のゾーン番号を選択します。
- ・ 「OFF」を選択するとプライバシーゾーンは設定されません。

② プライバシーゾーンの編集 (EDIT ZONE)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT ZONE」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して編集画面を開きます。また画面の中央にプライバシーゾーンのマスキングが表示されます。
- ・ ジョイスティックの左右操作でパンチルトを調整しプライバシーマスクの位置を決定します。
- ・ ズームとフォーカスを調整し「CAM SETUP」釦を押すとプライバシーゾーンの編集画面になります。
- ・ 「IRIS O」釦を押しジョイスティックを操作すると、マスキング範囲がそれぞれの方向に広がります。
- ・ 「IRIS C」釦を押しジョイスティックを操作すると、マスキング範囲がそれぞれの方向に狭まります。
- ・ 設定が終了したら「CAM SETUP」釦を押し、プライバシーゾーン設定画面「PRIVACY ZONES」に戻ります。
- ・ ゾーンの編集で調整できるズームの倍率は1倍~12倍です。



③ プライバシーゾーンの削除 (CLEAR)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「CLEAR」を選択し、左右操作で「ABOVE NUM」または「ALL」を選択、「CAM SETUP」釦を押します。

ABOVE NUM : 選択したプライバシーゾーンのデータを削除します。

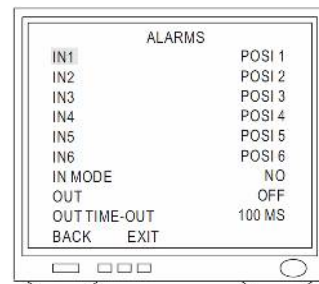
ALL : すべてのプライバシーゾーンのデータを削除します。(1~8)

11-3-6. アラーム設定 (ALARMS)

- ・スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「ALARMS」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

① アラーム入力の設定

- ・ジョイスティックの上下操作で「IN1」から「IN6」を選択し、左右操作でそれぞれのアラーム入力に対する PTZ 動作を選択します。



OFF → POSI# → SCAN → SEQ → TOUR1 → TOUR2 → PATROL → 以後くりかえし

- OFF : そのままの状態で停止しています。
- POSI# : 対応するプリセット位置に回転します。
- SCAN : オートスキャンモードを実行します。
- SEQ : プリセットグループモードを実行します。
- TOUR1 : パターン1のツアーモードを実行します。
- TOUR2 : パターン2のツアーモードを実行します。
- PATROL : 記憶されたパトロールモードを実行します。

② アラーム入力のモード設定 (IN MODE)

- ・ジョイスティックの上下操作で「IN MODE」を選択し、左右操作で「NO」または「NC」を選択します。

③ アラーム出力動作設定 (OUT)

- ・ジョイスティックの上下操作で「OUT」を選択し、左右操作でアラーム出力の動作を選択します。

OFF → IN1 → IN2 → IN3 → IN4 → IN5 → IN6 → ANY → 以後くりかえし

- OFF : アラーム出力は動作しません。
- IN1 : アラーム入力1に対してのみ動作します。
- IN2 : アラーム入力2に対してのみ動作します。
- IN3 : アラーム入力3に対してのみ動作します。
- IN4 : アラーム入力4に対してのみ動作します。
- IN5 : アラーム入力5に対してのみ動作します。
- IN6 : アラーム入力6に対してのみ動作します。
- ANY : いずれのアラーム入力に対しても動作します。

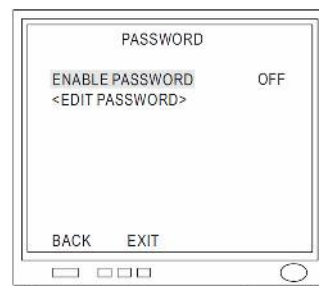
④ アラーム出力復帰時間の設定 (OUT TIME-OUT)

- ・ジョイスティックの上下操作で「OUT TIME-OUT」を選択し、左右操作で復帰時間を決定します。

→ 100MS → 200MS → 300MS → 400MS → 500MS
 5000MS ← 4000MS ← 3000MS ← 2000MS ← 1000MS ←

11-3-7. パスワード機能の設定 (PASSWORD)

- ・スピードドーム機能設定「DOME SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「PASSWORD」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



① パスワード有効の設定 (ENABLE PASSWORD)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「ENABLE PASSWORD」を選択し、左右操作でパスワード機能の「ON」または「OFF」を選択します。

② パスワードの編集 (EDIT PASSWORD)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「EDIT PASSWORD」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。
- ・ ジョイスティックの左右操作で「0」～「9」のいずれかを選択し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。選択された数字は編集エリアに表示されます。
- ・ パスワードの設定が終了するまで、この手順を繰り返します。
- ・ ジョイスティックの上下操作で「OK」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すとパスワード機能設定メニュー「PASSWORD」に戻ります。「CANCEL」を選択し、「CAM SETUP」釦を押すと新たな設定はキャンセルされ、編集エリアの数字は「1111」にリセットされます。



(注) パスワードを編集する際には、録画を停止してください。録画したままパスワードを編集すると、編集画面も同時に録画され、パスワード情報漏えいの原因になります。

③ パスワードの変更

- ・ パスワードの編集が終了した後でパスワードを変更する際には、もう一度パスワード編集画面でパスワードを編集します。
- ・ パスワード機能が ON に設定されている場合、設定メニューでまず前のパスワードを入力してからパスワードを変更してください。

④ パスワードの入力

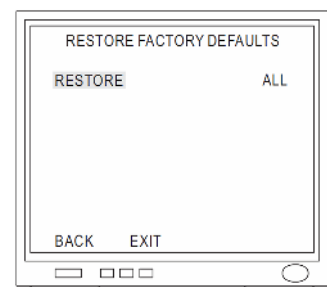
- ・ パスワード機能を ON にした後で「CAM SETUP」釦を押すと、画面にパスワード入力のフレームが表示されます。
- ・ プロトコルが MLP1 の場合、ジョイスティックの上下操作で「0」～「9」を選択し「IRIS O」釦を押してください。選択した数字が「*」になります。
- ・ 完了するまでこの手順を繰り返してください。パスワードが正しければ設定メニューが表示されます。
- ・ プロトコルが MLP2 の場合、キーボードの「0」～「9」釦で入力し、「ENTER」釦で確定してください。パスワードが正しければ設定メニューが表示されます。



(注) パスワードが 10 秒以内に入力されなかった場合、あるいはパスワードが間違っていた場合には、画面に「Invalid password」と表示されます。パスワードの初期値は「1111」です。

11-3-8. 初期化 (FACTORY INITIAL)

- ・ スピードドーム機能設定「DOVE SETTING」メニューの中から、ジョイスティックの上下操作で「FACTORY INITIAL」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



① 全部の初期化 (ALL)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「RESTORE」を選択し、左右操作で「ALL」を選択します。
- ・ 「CAM SETUP」釦を押すと”Are you sure continue”の確認のメッセージが表示されます。
- ・ もう一度「CAM SETUP」釦を押すとすべての設定が初期化されます。

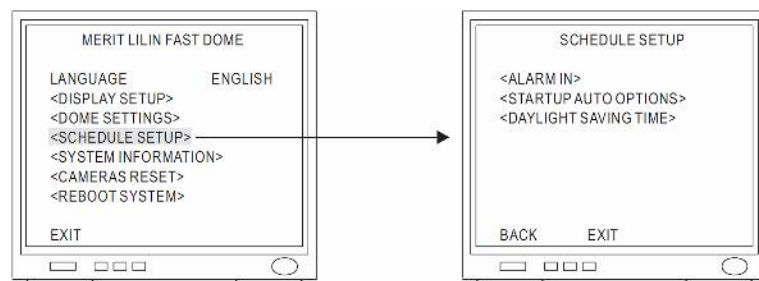
② カメラの初期化 (CAMERA)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「RESTORE」を選択し、左右操作で「CAMERA」を選択します。
- ・ 「CAM SETUP」釦を押すと”Are you sure continue”の確認のメッセージが表示されます。
- ・ もう一度「CAM SETUP」釦を押すとカメラの設定が初期化されます。

(注) 確認の「CAM SETUP」釦が 3 秒以内に押されない場合、このコマンドはキャンセルされます。

11-4. スケジュール設定 (SCHEDULE SETUP)

- ・ メインメニューからジョイスティックの上下操作で「SCHEDULE SETUP」を選択、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



11-4-1. アラーム入力 スケジュール設定 (ALARM IN)

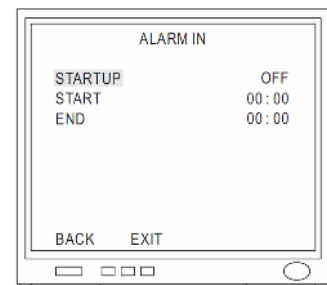
- ・ スケジュール設定「SCHEDULE SETUP」メニューの中から「ALARM IN」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。

① 機能開始設定 (START UP)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「STARTUP」を選択し、左右操作で「ON」か「OFF」を選択します。

ON : アラーム入力が設定時間に制限されます。

OFF : アラーム入力は設定時間に制限されません。



② 開始時間の設定 (START)

- ・ ジョイスティックの上下操作で「START」を選択し、「CAM SETUP」釦を押し、左右操作で時間を設定、再度「CAM SETUP」釦で確定します。

(例) 18:00 → 「CAM SETUP」釦 → 18:00 → 「CAM SETUP」釦 → 18:00

(注) 「STARTUP」がONの状態、設定した時間になると、アラーム入力機能が有効になります。

③ 終了時間の設定 (END)

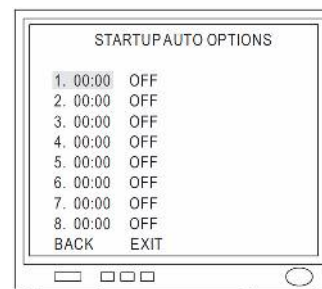
- ・ ジョイスティックの上下操作で「END」を選択し、「CAM SETUP」釦を押し、左右操作で時間を設定、再度「CAM SETUP」釦で確定します。

(例) 08:00 → 「CAM SETUP」釦 → 08:00 → 「CAM SETUP」釦 → 08:00

(注) 「STARTUP」がONの状態、設定した時間になると、アラーム入力機能が無効になります。

11-4-2. PTZ スケジュール設定 (STARTUP AUTO OPTIONS)

- ・ スケジュールに従ってPTZの動作を自動化させることができます。
- ・ スケジュール設定「SCHEDULE SETUP」メニューの中から「STARTUP AUTO OPTIONS」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。



① 時間設定

- ・ ジョイスティックの上下操作でアイテム1～8を選択、左右操作で時間設定、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

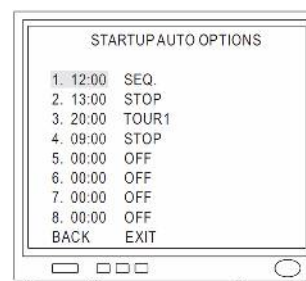
(例) 01 : 00 → 「CAM SETUP」釦 → 01 : 00 → 「CAM SETUP」釦 → 01 : 00

② 動作設定

- ・ アイテム1～8を選択し時間を設定すると動作設定になります。ジョイスティック左右操作で動作内容を選択し、「CAM SETUP」釦を押して確定します。

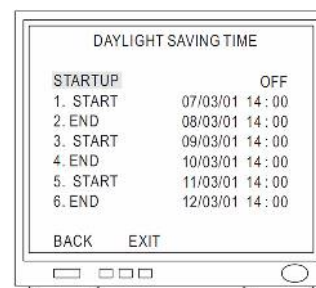
OFF → SCAN → SEQ → TOUR1 → TOUR2 → PATROL → 以後くりかえし

- OFF : なにも動作しません。
- SCAN : オートスキャンモードを実行します。
- SEQ : プリセットグループモードを実行します。
- TOUR1 : パターン1のツアーモードを実行します。
- TOUR2 : パターン2のツアーモードを実行します。
- PATROL : 記憶されたパトロールモードを実行します。



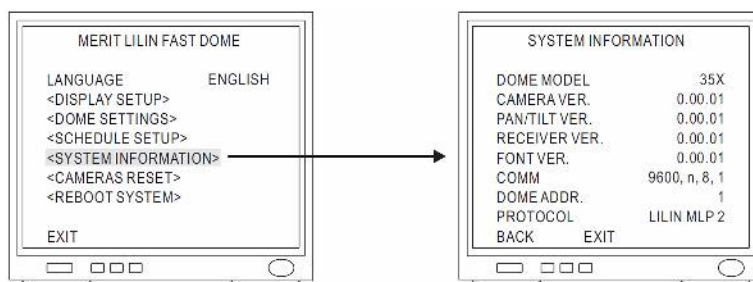
11-4-3. 夏時間設定 (DAYLIGHT SAVING TIME)

- ・ スケジュール設定「SCHEDULE SETUP」メニューの中から「DAYLIGHT SAVING TIME」を選択し、「CAM SETUP」釦を押して設定画面を開きます。
- ・ 日本国内で使用する場合は、ジョイスティックの上下操作で「STARTUP」を選択し、左右操作で「OFF」を選択します。
- ・ それ以降の設定は必要ありません。



11-5. システム情報の表示 (SYSTEM INFORMATION)

- ・ メインメニューからジョイスティックの上下操作で「SYSTEM INFORMATION」を選択、「CAM SETUP」釦を押して情報表示設定画面を開きます。
- ・ ジョイスティックの上下操作で「BACK」を選択し「CAM SETUP」釦を押すと前の画面に戻り、「EXIT」を選択し「CAM SETUP」釦を押すと設定メニューから抜け出します。



DOME MODEL	: スピードドームの機種名
CAMERA VER.	: カメラのソフトのバージョン
PAN/TILT VER.	: パンチルトのバージョン
RECEIVER VER	: レシーバのバージョン
FONT VER.	: フォントのバージョン
COMM	: プロトコルのフォーマット
DOME ADDR.	: スピードドームのアドレス
PROTOCOL	: プロトコルのバージョン

11-6. カメラのリセット (CAMERA RESET)

- ・カメラの設定を初期化させるため、カメラモジュールをリセットします。
- ・メインメニューからジョイスティックの上下操作で「CAMERA RESET」を選択、「CAM SETUP」釦を押してカメラをリセットします。
- ・「ESC」釦を押すか、ジョイスティックで「EXIT」を選択し「CAM SETUP」釦を押すと設定メニューから抜け出します。

11-7. システムの再起動 (REBOOT SYSTEM)

- ・設定と動作具合を初期化させるため、スピードドームを再起動します。
- ・メインメニューからジョイスティックの上下操作で「REBOOT SYSTEM」を選択、「CAM SETUP」釦を押してカメラをリセットします。
- ・「ESC」釦を押すか、ジョイスティックで「EXIT」を選択し「CAM SETUP」釦を押すと設定メニューから抜け出します。

12. 機器仕様

型 名		MSD-7635DHNF	MSD-7625DHNF
電気系	仕様	屋内	
	信号方式	NTSC	
	撮像素子	Sony 1/4 型 EXview HAD CCD	
	画素数	768(H) x 494(V)	
	走査方式	2:1 インターレース, 525 本, 60 フィールド/秒	
	同期方式	内部同期/電源同期	
	映像出力	CVBS 1.0Vp-p/75Ω BNC	
	水平解像度	カラー:520 本/白黒:580 本	
	S/N比	50dB 以上(AGC:OFF)	
	最低被写体照度	カラー:0.1 ルクス(F1.6)/白黒:0.01 ルクス(F1.6)	
制御系	水平回転	360 度連続回転	
	水平回転スピード	マニュアル時:0.15~120(度/秒)/プリセット時:1~255(度/秒)/アラーム時:360(度/秒)	
	垂直回転	-6 度 ~ +96 度(マニュアル, 自動, マニュアル位置, シーケンス)	
	垂直回転スピード	マニュアル時:0.15~120(度/秒)/プリセット時:1~255(度/秒)/アラーム時:360(度/秒)	
	精度	±0.25 度(水平/垂直)	
レンズ系	プリセット	128 箇所	
	レンズ倍率	光学 35 倍	光学 25 倍
	焦点距離	3.6mm~126mm	3.43mm~85.7mm
	最小口径比	1:1.6 (ワイド) ~ 4.2 (テレ)	1:1.6 (ワイド) ~ 3.7 (テレ)
	最低被写体距離	1.5m (テレ)	
	アイリス	自動/マニュアル	
主な機能	水平/垂直画角	1.64 度 ~ 53.8 度 / 1.23 度 ~ 41.6 度	2.53 度 ~ 57.8 度 / 1.83 度 ~ 43.7 度
	インターフェース	RS-485 (5.6V)	
	コントロール	パンとチルト/ズーム/フォーカス/アイリス/ICR/128 プリセットポジション/ホームポジション/パトロール	
	文字表示	オン/オフ(プリセット ID、ズーム比、アラームメッセージ、日付/時間、パン/チルト角度)	
	ズームスピード	0~7 から選択[7:約. 4.0 秒(遠から近) マニュアルモード]	
	フォーカススピード	スロー/普通/高速[約. 4.0 秒(遠から近) マニュアルモード]	
	オートフォーカス	自動/ズームトリガー/内部	
	アイリス	自動/マニュアル	
	デイ&ナイト	カラー/白黒/自動(ICR フィルタ機能)	
	パスワードロック	カメラ詳細設定/プリセット/プライバシーゾーン/工場出荷状態	
	電子シャッター	自動/マニュアル選択(1/60~1/100,000 秒)	
	逆光補正	オン/オフ	
	ホワイトバランス	ATW/PUSH/MWB	
	AGC	0~36dB 選択	
	自動回転	オフ/スキャン/シーケンス/ツアー/パトロール(停止/再生/学習)	
	プライバシーゾーン	オン/オフ(最大8ブロック)	
	ミラー表示	オン/オフ	
	ネガティブ表示	オン/オフ	
	アラーム入出力	6 入力[アラーム入力 1~6(NC/NO)], 1 出力(アラーム出力 NC/NO)	
	スケジュール設定	アラーム入力/自動/夏時間	
その他	使用周囲温度	-10℃~+50℃	
	使用周囲湿度	0%~90%(結露なきこと)	
	入力電圧	AC100V~240V±10%	
	消費電力	約 13W	
	外形寸法	238(高) x 145(直径)mm	
	質量	約 2.3kg	



有限会社 メリット

本 社 〒215-0018 神奈川県川崎市麻生区王禅寺東 5-6-17

電話 & ファックス : 044-986-9088

埼玉営業所 〒351-0115 埼玉県和光市新倉 1-28-12

電話: 090-6527-6624

URL : <http://www.meritcctv.com> E-mail : info@meritcctv.com

2012.4.1